EXECUTIVE SUMMARY

本報告の要旨 — 5つのポイント

1	**共通基盤**	マイクロ波（レーダー・通信・電子戦・HPM・衛星・誘導）は個別装備ではなく戦場全体の共通基盤。令和９年度概算要求も電磁波領域を「攻防の最前線」と位置付けた。
2	**競争力の源泉**	単体の出力や探知距離ではなく、全領域をネットワーク化し、AIとソフトウェアで納入後も更新し続ける能力。
3	**概算要求の到達点**	統合電磁波運用機能、電子戦機、HPM実証、SDA衛星、ダイヤモンド半導体、防衛イノベーション制度群が出揃った。
4	**欠けているもの**	実際に電波を出し、妨害し、無人機を飛ばし、HPMを照射して計測できる官民共用の実験・実証フィールド。
5	**C-UASから始める**	三層対処構造・規制緩和型実証特区・国家戦略・統合対処センター・ドローンネット。特区をフィールドの第一段階に。